

令和3年度地震・津波防災訓練 (内閣府・鹿児島県志布志市)

実施報告書 (概要版)

鹿児島県志布志市について

志布志市は鹿児島県東部、志布志湾の湾奥ほぼ中央に位置し、東西約23km、南北に約18kmの扇形の区域で、面積290.28km²となっており、隣接する大崎町に一部飛び地を有している。

志布志市ではこれまで地震・津波により大きな被害を受けた記録はないが東北地方太平洋沖地震をふまえ、避難路の整備や小学校における防災教育の促進をはじめとしたさまざまな津波防災・減災対策を実施している。その中の一つの取り組みとして、毎年津波防災訓練を実施しているが参加者数は年々減少傾向にある。

市では今回の事業を通じて、地域および市職員の意識向上とともに、地域の自主的な活動による防災力強化の定着をねらい、住民を対象とした防災ワークショップを繰り返し、「地域課題の明確化」⇒「訓練の企画」⇒「訓練の実施」⇒「振り返り」⇒「次年度の訓練等の企画」のサイクルを実施した。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和3年11月5日（金）午前10時00分に、日向灘を震源とする地震が発生し、市では震度6弱を観測、鹿児島県東部に大津波警報が発表された。市では、「災害対策本部」を志布志庁舎に、「現地災害対策本部」を有明庁舎、松山庁舎に設置し、関係機関と連携をとり災害対応にあたる。
- 実施日時：【訓練実施前WS】令和3年10月19日（火）14:00～16:00
【訓練】令和3年11月5（金）10:00～12:00
【訓練実施後WS】令和3年12月7日（火）14:00～16:00
- 主催：志布志市、内閣府
- 参加者数：約70名
- 参加機関：志布志市消防団、大隅曾於地区消防組合、志布志警察署、志布志海上保安署、国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所、国土交通省九州地方整備局志布志港湾事務所、鹿児島県大隅地域振興局建設部河川港湾課志布志市駐在機関、市内各自治会、市内事業所、市内幼稚園・保育園・保育所、市内小中学校、市内高等学校等

訓練の評価

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民を集めての大規模な訓練は実施がかなわなかったが、今後同様の取組を地区レベルで実施していくことを念頭に実施した。訓練当日は天候にも恵まれ、市職員や参加機関等合わせて約72名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、地域住民のアンケート結果等を分析し、今後の防災対策や津波避難訓練の参考となるよう「得られた成果と対策案」を整理した。

【得られた成果】

- 災害対策本部設置訓練については、本庁舎を志布志庁舎に移しての初めての訓練であったが、オンライン会議システムを用いて庁舎間での連絡・情報共有ができた。
- 避難所開設訓練では一部住民参加のもとで受付実施等の開設手続きを確認し、平時からの取り組みの重要性について行政、住民、施設職員、消防団等で認識を共有できた。

【今後の対策案】

- 市内中心部においては地震発生後、市が指定している避難所への避難経路が土砂災害や渋滞等により通行できなくなる可能性があり、市の指定する避難所の他、地区毎に、津波からの一時的な避難先を検討しておくことが重要である。
- 次年度以降について、地区毎の課題に対応した訓練を市の支援のもと地域自らが企画・実施していくことにより地域の防災力のさらなる向上に努める。

10月19日（火）14:00～16:00 訓練実施前ワークショップ

市内浸水想定区域内の公民館長等を対象とし、訓練予定内容の説明のほか、グループワークを通じて、地域の津波防災における課題の再確認や、アドバイザーの近藤准教授（宇都宮大学）による「地域での防災活動のあり方」に関する講演会を実施した。

▼アドバイザー講演（オンライン）



▼参加者による検討内容の発表・共有



11月5日（金）9:00～12:00 実働訓練（シェイクアウト訓練・津波避難訓練等）

緊急地震速報の発表後、市民は、各自の居場所でシェイクアウト訓練を実施し、特に浸水域内の幼稚園や小学校等では市の訓練実施に合わせて園児や生徒の避難訓練が行われた。

消防団や海上保安庁においては消防車両や船舶による避難誘導訓練を実施した。

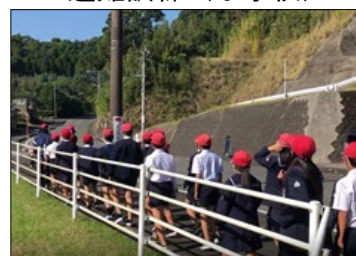
また、市役所では関係機関及び市の各庁舎（志布志庁舎、松山庁舎、有明庁舎）間で連携し、災害対策本部の立ち上げ及び運営訓練を開催した。

志布志市文化会館にて、避難者の受入れを想定した受付訓練や、避難生活のイメージをもってもらうためのパーティーの組立・使用体験、訓練の振り返りを実施した。

▼シェイクアウト訓練



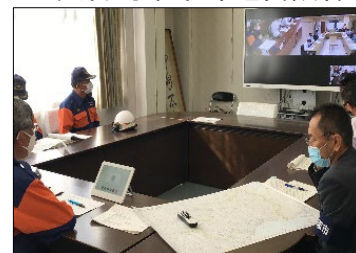
▼避難訓練（小学校）



▼避難誘導訓練（消防団）



▼災害対策本部運営訓練



▼避難所受付訓練



▼避難所開設訓練



12月7日（火）14:00～16:00 訓練実施後ワークショップ

訓練についての振り返り及び、アドバイザーによる防災講演を踏まえ、地域での防災上の課題についてワークショップを実施した。

また、継続的な防災力の向上を実現するためには、課題の共有、訓練の実施、訓練の振り返りのサイクルを作り実行することが必要であるとの認識を共有した。

▼アドバイザー講演



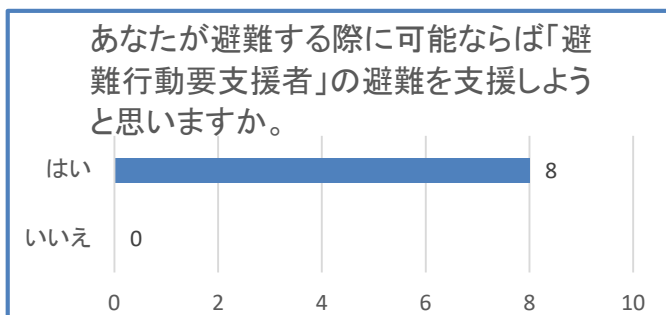
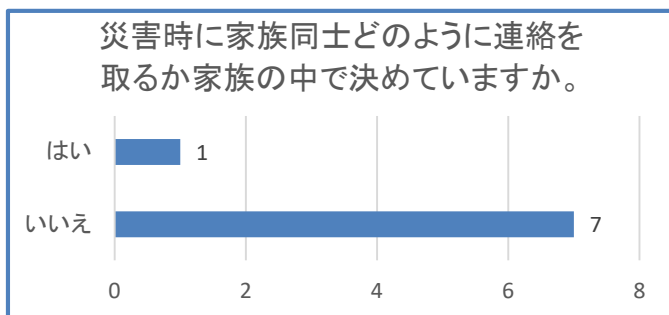
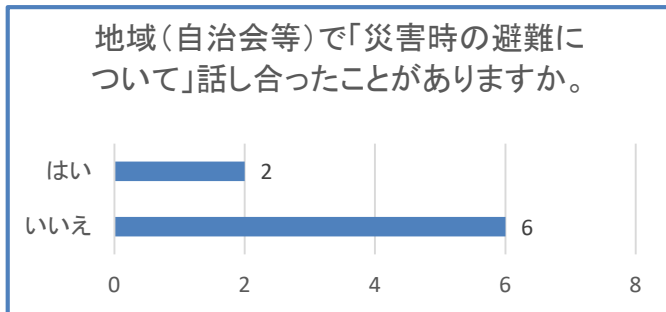
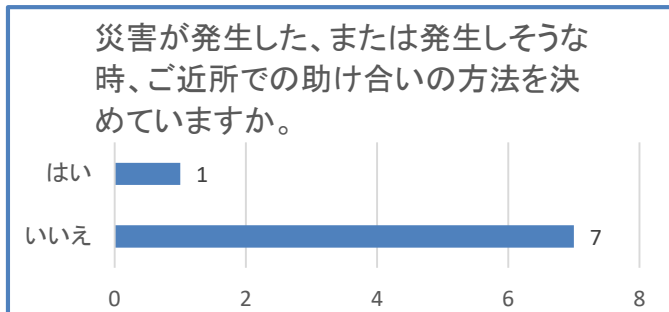
▼次年度訓練内容の検討



アンケート結果

職員の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

○自治体職員（アンケート回収数：8）



次年度の地区毎の防災訓練実施にむけ、地区代表者の課題意識や実施に向けて市に求める支援、連携のあり方などを把握するためアンケート調査を実施した。

○地区代表者（回収数：4）

